

科目名 (科目番号)	高齢者障害 理学療法評価学 (時間割参照)	教員名	有田真己, 他	学科等	理学療法	必修	履修年次	3
				曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
				授業形態	講義	オフィスアワー	別紙参照	
授業概要	高齢者の生活機能や症候特性の把握は、最良な運動負荷処方および介入目標の設定につながる。本講義では諸機能の測定方法や高齢者特有の症候特性について学習する。							
目的・目標	目的: 高齢者における一般的な評価項目と老年期特有の疾患を理解する 目標: 高齢者においてよく用いられる評価方法について説明できる。高齢者特有の疾患について説明できる。							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授業計画	回	授業項目		到達目標・学習内容				
	1	介護予防と転倒予防の機能評価		到達目標: 高齢者の運動機能の測定法および転倒に関連する評価の理解ができる 学習内容: 地域在住高齢者における運動機能の測定法や店頭に関する身体機能および評価項目について学習する。				
	2	高齢者の生活機能評価		到達目標: 高齢者の生活機能・認知機能・心理機能の評価が理解できる 学習内容: 高齢者の生活機能に関する評価方法について学習する。 高齢者の認知機能および心理機能の評価方法について学習する。				
	3	身体機能スクリーニング法		到達目標: 運動処方について理解できる 学習内容: 運動処方について学習する。最大下運動負荷試験について学習する。				
	4	老年疾患（1）		到達目標: 高齢者の内部障害の特性と評価が理解できる 学習内容: 循環器疾患, 呼吸器疾患における高齢者の症候特性とその評価について学習する。				
	5	老年疾患（2）		到達目標: 高齢者の運動器疾患等の特性と評価が理解できる 学習内容: 運動器疾患における高齢者の症候特性とその評価について学習する。				
	6	老年疾患（3）		到達目標: 高齢者の内分泌等の特性と評価が理解できる 学習内容: 内分泌代謝疾患における高齢者の症候特性とその評価について学習する。				
	7	老年疾患（4）		到達目標: 高齢者の腎臓疾患等の特性と評価が理解できる 学習内容: 腎臓疾患、その他における高齢者の症候特性とその評価について学習する。				
	8	まとめ		到達目標: 授業内容の振り返りを通じて、理解困難な部分を抽出し再確認する。 学習内容: 理解が難しかった授業内容について、グループワークで理解を深める。				
成績評価の方法・基準	期末試験(100%)により評価する。（対面・オンライン共通）							
教科書	標準理学療法学・作業療法学 老年学(第6版)			大内尉義 編集		医学書院		
参考図書	老人のリハビリテーション, 老年学テキスト			前田真治(著), 飯島 節・鳥羽 研二(編集)		医学書院, 南江堂		
教員からのメッセージ	理学療法の年齢区分からみた対象で最も多いのは高齢者です。その点を踏まえて本講義に臨んでください。介護老人保健施設で勤務した理学療法士がこの授業を担当します。 オンライン授業に伴い授業動画に変更がある場合は、オンラインクラスにて変更のシラバスを周知いたします。							

科目名 (科目番号)		教員名		学科等			履修年次	
				曜日・時限等	時間割表参照		単位数	
				授業形態		オフィスアワー		
授業概要								
目的・目標								
準備学習								
授業計画	授業項目		到達目標・学習内容					
成績評価の方法・基準								
教科書								
参考図書								
教員からのメッセージ								